

いつもお世話になっております。「遠中だより」の12月、1月分をダイジェスト版にして、回覧させていただきます。地域の皆さまとのかかわりを大切に、学ばせていただきながら、ふるさとの未来を担う子ども達を育てたいと思っております。今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。



遠中だより

発行日：令和元年 12月 9日
号数：第11号
発行：蔵王町立遠刈田中学校
刈田郡蔵王町遠刈田温泉字小妻坂山16
Tel 0224-34-2203
文責 松崎

11/19 地域公開授業 腰塚勇人さん「命の授業」

～ 地域の方々と感動を共有できました！～

腰塚さんは、スキーでの転倒で「首の骨」を折り、首から下が動かなくなったにもかかわらず、壮絶なりハビリを行い、なんと4か月で学校に復帰した奇跡の元体育教師。その体験は「奇跡体験アンビリバボー」等にも取り上げられ「命の授業」は全国的に有名になりました。

今回は、全校生徒対象の「地域公開授業」として実施しましたが保護者・祖父母の皆様、人権擁護委員の方々、そして、社会福祉協議会の協力で、老人クラブの皆さまにもおいでいただき、生徒の間に入って一緒に授業を受けていただきました。講演後には生徒と参加者がグループになって感想交流も行いました。感動を共有し、思いを交流したことが生徒と地域の方々の心の絆づくりにつながったと思います。



【ご参加者の声～アンケートより～】

自今の中にもいる、「ドリー夢キラー」(腰塚さんの言葉で「マイナス思考に陥らせる人」を指す)についてじっと反省してみた。

85歳、少しでも他人の役に立ちたいと思っている。

命を大切にしたい。自今の、他人の。これは一番大切なこと。それを強く感じた。

【生徒感想】

僕が今日の授業で一番学んだことは「人は、他の人に支えてもらって生きている」ということです。僕はぜんそく持ちで点滴ばかりしていましたが、嫌だなと思うことはありませんでした。それはそばにいてくれた親のお陰だということに改めて考えさせられました。「人は他の人に支えられて生きている」という言葉が、深く胸に響きました。僕も仲間や家族、また、自今の子どもができた時、みんなに「この人がいて良かったな～」と思われる『ドリー夢メーカー』になりたいと思いました。

(3年 佐藤 良志)

11/21(水) 真剣そのもの！『避難訓練』実施



白石消防署蔵王出張所より2名の消防士の方に来ていただき、火災想定での避難訓練、水消火器での消火訓練、煙の中を通過する『煙中通過訓練』等を行いました。

避難訓練では、各教室から式台前まで全員が避難するのに2分18秒で、昨年より30秒早く避難が完了しました。

1人もしゃべらず真剣に訓練に参加していました。『備えあれば憂いなし』です。今後も一層防災教育に力を入れていきたいと思っています。



11/24(土) PTA研修委員会企画

『クッキングセミナー』♪

今年度は、「蔵王ヘルスメイト」から4人の講師の方々にボランティアでおいでいただき、「具だくさんおにぎらず」「コンソメスープ」「アップルパンケーキ」を作りました。

当日は、20名ほどの生徒や保護者の皆さんにご参加いただき、和やかに楽しく調理し、みんなで美味しく試食しました。笑顔がいっぱいのとても良い研修になりました。

研修委員として企画・準備をしてくださった黒澤さん、山田さん、参加くださった皆さま、ありがとうございました。



11/21 芸術に親しむ日 ～宮城県美術館『移動創作室』～



今年も「宮城県美術館」教育普及部から、鈴木雅之先生と学芸員の松崎なつひさんにおいでいただき、全校生徒がそれぞれ学年毎に学習しました。

持ってきていただいた名作絵画のレプリカを観ながら、感じたことを話し合う『対話による鑑賞』に、どの学年も意欲的にそして楽しそうに取り組んでいました。

今回初めて授業を受けた1年生も、それぞれが独自の視点を持ち、豊かに感じたことを言葉で表現していました。

どの学年の生徒も全員が事後の感想をしっかりと書いていたことから、素晴らしい体験だったことがうかがえました。

← 鈴木雅之先生とすっかり意気投合の1年生たち

令和元年度 宮城県造形教育作品展 学校代表作品

宮城県美術館ギャラリーに令和元年11月13日(水)～11月17日(日)の5日間飾られました。

3年 北岡大地くん、北岡大空くん 県特選(最高賞)W受賞でした。

↑こんな風に感性を磨いてきた遠中生の絵画作品が宮城県の中学生の絵画コンクールの最高峰である「宮城県造形教育作品展」で最高賞の『特選賞』を受賞しました！しかも2人も！



特選

特選 北岡 大空 「温泉街のカーブ」

どれも再現度が高い！！
空とか道路の色が細かくて、まるでその場にいるみたい！
3年女子



特選

特選 北岡 大地 「蔵王おろしにのって」

毎年この風景を見るのを楽しみにしていました！それがまさか絵で見れるなんて！めっちゃすごい！
3年男子

美術科である校長の企画のもと、1階ホールに展示された2人の絵の下には、それを観た生徒たちが自由にコメントできるケースがかけてあります。上はその一部です。遠中生の感性はほんとにステキです。



遠中だより

発行日：令和元年 12月23日

号数：第12号

発行：蔵王町立遠刈田中学校

刈田郡蔵王町遠刈田温泉字小妻坂山16

TEL 0224-34-2203

文責 松崎

12/23 遠中充実の2学期 *Thank you* 無事終了しました！



澄んだ空に屏風岳の冠雪が美しい季節となりました。本日の終業式では、各学年と生徒会の代表生徒が、2学期を振り返っての所感を発表しました。活動を通して学んだことを深め、課題があれば改善のための目標を設定し、前向きに頑張ろうとする強い意志が感じられるたいへん立派発表でした。

大きな行事の続いた2学期、生徒全員がそれぞれの力を発揮して活躍できたのは、ご家庭や地域の皆さまの支えがあったからこそです。

改めまして深く御礼申し上げます。

代表) 1年 大沼悠太さん、2年 高橋帆那さん、生徒会 佐藤航平さん



3年代表として全文暗記で堂々と発表する大橋唯さん



【高橋校長 式辞】（抜粋）

今年の締めくくりと新たな年を迎えるにあたって、ふるさと遠刈田にかかわることを、また私の視点でお話しをします。

唐突ですが、今放送中のNHK朝ドラのタイトルを知っていますか？…「スカーレット」。スカーレットとは色の名前のひとつです。日本語では「**緋色（火色）**」と呼ばれ、陶芸の窯焼きなどで強い炎を指す、「わずかに黄色がかった赤」の事を言います。…この色は一般的には「朱色」と表現されることが多いです。

「朱色」……遠刈田にとっては実は馴染みの色です。

どこでこの色を見ますか？ひとつはホテルアクティブ・リゾート前にドン！と構えている**巨大な鳥居**の色ですね。学校すぐ下の刈田嶺神社里宮や、刈田岳山頂の奥宮の鳥居は灰色ですが、この蔵王エコーライン入口となる大鳥居をはじめ、日本全国の多くの鳥居は、赤・朱色のものが多いです。今年度の遠中祭でみなさんが立派に演劇をした「蔵王エコーライン」は、開通を記念して、宮城側にも山形側にもその入口に朱色のあの鳥居が作られました。

なぜこの朱色に鳥居が塗られているのでしょうか？実は赤・朱色には「**魔除け**」「**病気除け**」の力があると信じられていたからです。蔵王連峰一帯は、はるか平安の昔に山伏達が「蔵王大権現」を山頂にまつり、山全体が神の力を持つと言い伝えられるようになったため、神の域である特別な空間に入るための門として、あの鳥居が建てられたそうです。昔から「**霊峰**」蔵王という言葉もあります。現在にも伝わる「**御山詣り**」もそのことからきています。

「朱色・黄色がかった赤」が塗られているこの地域のもう一つの代表的なものがあります。昔からある定番の遠刈田みやげ「**遠刈田こけし**」ですね。日本全国こけしの産地は、一般的に、鳴子、作並など、東北を中心に全国11カ所と言われています。その起源、こけしが誕生した場所はなんとこの遠刈田温泉であると、歴史上言われているのです。

温泉街は、近くの山々に安定した木材資源を抱えており、木材を回転させてお椀などの器やお盆などの形をつくる技術が確立されました。その中で余っている木を使って、木を回転させて、子どもが遊べるものをつくったことが「こけし」のはじまりとされています。

その当時の手回しの回転道具も展示されている。遠刈田の「みやぎ蔵王こけし館」に入ったことある人は、手を挙げてください。……（たくさんいますね。）

遠刈田こけしは、他の産地のこけしに比べ、元祖であるがゆえか、「華やかさでは右に出るものなし」と言われます。赤い放射線模様を頭にいただき、ほほえみをたたえるような優しい表情が大きな魅力と言われ、人気があるのです。

みなさんの自宅には「こけし」が置いてありますか？こけしは赤い絵の具を多く使って描かれているので、実は「**赤もの玩具**」とも呼ばれています。やはり、それぞれの家庭に、「不幸」や「病気」が入ってこないようにするために赤や朱色を多く使っているこけしが飾り物・置物として広まっていったということです。もっと簡単に言うと「赤」が多く塗られているこけしを室内に置くことが、見て癒やされながら、自分や家族にとって悪いものから身を守るバリアになると考えられていたようです。

明日からの冬休み。遠刈田の「こけし」や「大鳥居」など『赤もの』にも守られて、皆が1年を無事に過ごし、来年の1年間も無事に過ごせますようにと願っています。

今日は皆さんに、『ふるさと文化を自分の口で伝えられる人になってほしい』という思いを込めてお話をしました。



作文コンクール 全国入賞おめでとう！



12/18 人権作文コンテスト全国大会
法務省人権擁護局長賞

3年 熊澤 康太郎
「ひいばあちゃん笑顔」

大河原地区大会、宮城県大会でも上位入賞し、全国大会に進んだ康太郎さんの作品が、全国でも入賞を果たしました。

←白石キューブでの表彰式の康太郎さんと、ひいおばあさん。ステキな笑顔です。

先日、県法務局等から4名の方においでいただき、校長室で伝達式が行われました。河北新聞に作品全文が掲載されたことで、県内の多くの方から「感動しました」等の感想をお寄せいただきました。





12/19 防火防災に関する作文コンクール 全国優秀賞

3年 佐藤 菜月 「消防団は地域の誇り」



町の代表、大河原地区の代表、宮城県の代表作品となり、1点だけ全国大会に進んだ菜月さんの作品が、全国2位の「優秀賞」を受賞しました。

先日、宮城県消防協会仙南支部長様、白石消防署長様、蔵王町消防団長様、蔵王町教育長様においでいただき、全国消防人協会からの賞状伝達式が行われました。

2人の写真や作品は、広報「ざおう」2月号に掲載される予定です。また、町役場玄関前には立て看板も設置していただきました！

【蔵王町読書感想文コンクール 入賞者】 *12/23 伝達式

優秀賞	熊澤 寛二 (1年)	黒澤 璃桜 (2年)
優良賞	木村 京士朗 (2年)	大沼 悠衣 (3年)
努力賞	蘇武 陽和 (1年)	大沼 芽依 (3年)
		大橋 唯 (3年)

→代表の璃桜さん



遠中だより

発行日：令和2年 1月10日
号 数：第13号
発 行：蔵王町立遠刈田中学校
刈田郡蔵王町遠刈田温泉字小麦坂山16
TEL 0224-34-2203
文責 松崎



2020

気持ちを新たに…3学期スタート!



保護者の皆様、地域の皆様、本年も遠刈田中学校をどうぞよろしくお願いいたします。

今年は雪も降らず穏やかなお正月でしたが、始業式は一面雪景色となりました。そんな中でも、登校してくる生徒は、さわやかなあいさつと笑顔で、冬休み中に家族などと充実した時間を過ごしたことがうかがえました。始業式では、各学年と生徒会の代表が新年にあたっての目標を、ほぼ暗記で堂々と発表しました。

1年 伴沙里奈さん、すばらしい発表でした↑ 2年 三浦大輝さん、3年 大沼芽依さん、生徒会 千葉美波さんも立派!

【高橋校長 式辞】 (抜粋)

今日は、遠中生の皆さんが一歳ずつ年上になるにあたって、「少し難しい話」をしたいと思います。

今の世の中、現代社会は難しい言葉で「Society5.0 社会」と言われています。この図を見て下さい。狩りをして動物の肉などを食べていた原始時代が「ひとつ目の社会」。稲作など農耕が定着した社会が「二つ目の社会」。鉄などの金属で物を作ることが定着した社会が「三つ目の社会」と言われます・・・この『工業社会』って、日本では何時代がスタートだと思いますか？



みなさんは「スタジオジブリ」のアニメ映画「もののけ姫」を見たことがありますか？見たことある手を挙げて下さい。あのお話は何時代の何県のお話か知っていますか？

監督の宮崎駿さんは地理や歴史の勉強をたいへんされていて、史実を基に「室町時代」の「山陰地方・島根県」の物語として大作を作り上げました。(主人公のアシタカは白神山地の蝦夷の服装をしているので、秋田から日本海沿岸を南下して山陰にたどり着いたと思われます)・・・朝鮮半島を経由して大陸から伝わった製鉄場の原型である「たたら場」で物づくりを進めようとする人たちの思いと、命の恵みである自然に畏敬の念を持ち、そのままの自然を大切にしようとする人や生き物の思いとの「ふたつの思いの強い対立」が描かれていました。

これ以降、金属による工業への思いが国全体で強くなっていきます。すぐ戦国時代となり、鉄砲や大砲など武器生産が飛躍的に進化をしました。

明治維新以降の「工業立国日本」と呼ばれた時代など長きに渡った「工業社会」の時代を経て、そしてつい最近の20年ほど前、世の中に「インターネット」が突如登場して急速に普及し、また、新たに登場したと思った「携帯電話」が、数ヶ月刻みで「形の変化」と「中身の進化」を遂げる「情報化時代」がきました。この時代が「第4の時代」と呼ばれます。「iモードって何？」など、飛び交う言葉についていくのに苦労をしたのを思い出します。

そして今、人工知能「AI」やロボット、バーチャルな仮想空間などが当たり前になった『第5の新時代』が到来したと言われるようになりました。人工知能のAIが問いの答えを出し、人間に代わりロボットが様々な労働を行ってしまうこれからの時代、これから大人になる皆さんは人間として何を身につけなければならないのでしょうか。

言われているのは、今まで以上に「人間としての強み」を発揮し、AI等に使われるのではなく、使いこなしていくために「物事を正確に読み解き、対話をする力」や、「科学的に考え、それを活用する力」、「価値を見つけ出せる感性やひとつの物事を深く見つめる力」が求められているということです。

これまで、皆さんがこれからの時代に対応した力をつけてほしいと願い、遠中伝統の「心の集会」や、「美術館出前授業」をはじめ幾つかの取り組みを学校生活の中に織り込んできました。「自信を持って自分なりのものの見方・とらえ方ができる人」「（同調圧力という言葉がありますが）他の人と考えが違ふ事に怯まず“自分”の考えを貫ける人」「他の人以上にひとつの物事を深く見つめ、深く感じ、深く考えることができる人」…私は皆さんにそのような人の姿を目指して成長してほしいと思っています。

全校生徒みんなでこれからも『自分で深く考え、自分の思いをしっかりと持ち、自分の言葉ではっきり語る』ことができる人、人の姿を目指していきます。それが「エネルギー」でより活気ある遠中全体の雰囲気にもつながっていくのだと思います。3学期の、そして今年の皆さんの姿に期待をしています。令和2年もみんなで手を取り合い一歩一歩前に進んでいきましょう。



1/14(火)～17(金)「校内書きぞめ展」開催期間中、学校開放します！

来週一週間、2階ホールに1年から3年までの毛筆と硬筆の作品を展示します。冬休み中頑張っている生徒が多く、力作ぞろい！金賞受賞者は、練習をして作品を仕上げ、17日に行われる「白刈地区書きぞめ審査会」に出品する予定です。

期間中、8:15～16:45の間いつでも結構ですので、ぜひご都合の良い時間に見にいらしてください。保護者の方以外の地域の皆さまにも、遠中の様子を見に来ていただく機会としたいと考えております。ご来校の際は職員室にお声掛けください。どうぞよろしくお願いいたします。

学年	毛筆 金賞★受賞者
1年	大沼祐太・熊澤寛二・三浦亜美・山田羽留
2年	佐藤航平・佐藤悠太・高橋僚佑・愛澤詩和
3年	北岡大空・北岡大地・澁谷祐樹・大沼悠衣

学年	硬筆 金賞★受賞者
1年	後藤 翔・大沼寛奈・伴沙里奈
2年	愛澤詩和・大宮萌夏・千葉美波
3年	北岡大空・大橋 唯・加藤さらさ・佐藤萌花



遠刈田中校長 高橋直人の絵画作品 「神の湯と朝市」が神の湯へ

しばらく学校の昇降口ホールに展示し、一時ございんホールにも展示していましたが、それをご覧になった「神の湯」さんの関係者の方から、「ぜひ神の湯に飾らせてほしい」とのお声掛けをいただきました。

校長が仙台の額縁工房に額装を依頼したところ、工房長さんが、神の湯の中の暗さを考慮して、明るく見える額装にしてくださったそうです。入って左上にありますので、神の湯さんへお出かけの際は、ぜひご覧ください。



1月の予定

☆ 1月の完全下校時刻は
16時45分です。

【生活目標】 落ち着いた生活と安全な登下校を心がけよう。



積雪や凍結が予想されます。慎重に歩くことはもちろん道路では車などの動きにも十分注意させたいと思います。学校では、神の湯前までの職員による下校指導等を行っていますが、地域の皆さまの目が大きな力になりますので、遠中生の様子で気になることがありましたら、ご一報いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【保健目標】 かぜ、インフルエンザの予防を心がけよう。 *毎月の「ほけんだより」もお読みください。



昨年12月から県内でインフルエンザが流行し、蔵王町でもだいぶ罹患者が出ました。本校ではまだ罹患者は出ていませんが、今後感染が広まることも予想されます。3年生は受験シーズンに入ります。うがい手洗いなどはもちろん、不要不急の外出は控え、外出の時はマスクを着用するなどの予防を心がけさせたいと思います。

月日	曜日	行事	給食	部活
11	土			可
12	日	(蔵王町成人式)		可
13	月	成人の日		可
14	火	朝会 専門委員会 校内書きぞめ展	○	○
15	水	職員会議 部活動休養日 15:30完全下校	○	×
16	木	心の集会	○	○
17	金	中央委員会	○	○
18	土	白刈地区書きぞめ展(白石中央公民館)		可
19	日			可
20	月	生徒会朝会 「ノーゲーム・ノースマホ」	○	○
21	火	2年樹氷めぐり事前授業	○	○
22	水	1年スキー教室 部活動休養日	○	×
23	木		○	○
24	金		○	○
25	土			可
26	日			可
27	月	「ノーゲーム・ノースマホ」	○	○
28	火	2年樹氷めぐり 部活動休養日 (2年弁当)	○	×
29	水		○	○
30	木		○	○
31	金		○	○

1/8(水) 町長さまより 御祝いと激励の言葉を いただきました!

前回の遠中だよりでご紹介した、県造形作品展特選賞の北岡大空さん、北岡大地さん、人権作文全国入賞の熊澤康太郎さん、防災作文全国入賞の佐藤菜月さんが、町長様にお招きいただき、入賞の報告に行きました。温かいお言葉をいただき、皆感激していました。



みんないい笑顔です。おめでとう!

2月



14日(金) 3学期期末考査① 町PTA研修会
17日(月) 3学期期末考査②
19日(水) 避難所設営訓練
PTA専門委員会・常任委員会
28日(金) 3年生を送る会

3月



4日(水) 公立高校第1次募集(入試)
7日(土) 卒業式
9日(月) 振替休業日
13日(金) 1・2年授業参観・学年PTA
24日(火) 修了式
25日(水) 新入生1日入学

1/14(火) 朝会にて ~蔵王町の成人式は素晴らしい!~

1/12(日)の町の成人式に出席した校長が、新成人の皆さんの素晴らしい様子に感動して帰って参りました。

朝会では、当日の様子や上映されたスライドの写真を見せながら校長が成人式の様子を生徒たちに紹介しました。

毎年「荒れた成人式」がニュース等で取り上げられますが、蔵王町の成人式は、落ち着いた中にも凛とした緊張感があり、挨拶などもたいへん素晴らしく、自分たちを育ててくれた町への感謝の気持ちが表れていたとのこと。遠中卒業生もとりわけしっかりした態度で、家庭はもちろん、地域の教育力を改めて感じるひとときだったとのことでした。

